

令和7年度 消防年報

# 「自主防災のまち」



令和8年刊行

長門市消防本部

## は し が き

この自主防災のまちは、長門市消防本部の  
消防現勢及び令和7年度中の諸般の資料を収録し、  
将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一  
般に紹介するため編集したものです。

なお、収録の統計資料は原則として会計年度、火災  
救急救助については、暦年によるものとし、表中  
特に年月日を明示したものは、その時点の現況です。

令和8年4月

長門市消防本部

# 目 次

## 【長門市消防本部の構成】

1 位 置	1
2 地 勢	1
3 面積・人口及び世帯数	1
4 管 内 図	2
5 歴代消防長	2
6 沿 革	3
7 消防信条	1 4
8 消防本部・消防署組織表	1 4
9 消防庁舎の状況	
(1) 長門市消防本部・長門市中央消防署	1 5
(2) 長門市西消防署	1 5

## 【総 務】

1 人 事	
(1) 消防職員の配置状況	1 6
(2) 年齢別消防職員数	1 7
(3) 在職年数別消防職員数	1 7
(4) 消防職員の特殊技能・免許取得状況	1 8
(5) 消防職員の研修状況	1 9
(6) 部外者による教養状況	1 9
2 予 算	
(1) 令和8年度当初予算	2 0
(2) 一般会計予算と消防費の比較	2 1
(3) 消防費と人口・世帯数との比較	2 1
(4) 現有消防力と面積・世帯・人口の割合	2 1

## 【予 防】

1 防火対象物の状況	2 2
2 中高層建築物の状況	2 3
3 各種届出等事務処理件数	2 3
4 建築同意事務の状況	2 4
5 広報等の実施状況	2 4
6 危険物	
(1) 危険物施設の状況	2 5
(2) 各種届出等事務処理件数	2 5
7 消防クラブの状況	2 6

## 【警 防】

1	消防車両配置状況	27
2	通信施設状況	27
3	消防用資器材の状況	28
4	消防水利の現況	29
5	消防相互応援協定等の締結状況	29

## 【火 災】

1	火 災	
(1)	過去5年間の火災状況	30
(2)	出火原因別火災発生件数	30
(3)	時間帯別火災発生状況	31
(4)	曜日別火災発生状況	31
(5)	気象別（風速・湿度・温度）火災発生状況	32
(6)	風向別火災発生状況	32

## 【救 急・救 助】

1	救 急	
(1)	過去5年間の救急出場状況	33
(2)	救急出場状況	34
(3)	救急隊別救急出場状況	34
(4)	月別救急出場状況	35
(5)	不搬送状況	35
(6)	時間別救急出場状況	36
(7)	曜日別救急出場状況	36
(8)	傷病程度・年齢別搬送状況	37
(9)	応急処置状況	38
(10)	特定行為等の処置状況	38
(11)	転院搬送状況	39
(12)	ドクターヘリ要請状況	39
(13)	診療科目別ドクターヘリ搬送状況	39
2	救急講習	40
3	救 助	40

## 【消 防 団】

1	消防団の現況	
(1)	組織	41
(2)	部隊別団員数と保有機材	42
(3)	年齢・階級別団員数	43
(4)	団員在籍年数調	43
(5)	出動状況	43

# 長門市消防本部の構成

# 1 位置

長門市は、山口県の北西部に位置し、日本海に沿って東西につらなり、東は萩市に、西は下関市に、南は美祢市に接し、北は日本海に面している。



# 2 地勢

長門市は、仙崎湾・深川湾・油谷湾などの天然の良好な港湾と、対馬海流に育まれた豊富な水産資源に恵まれ、沿岸漁業は四季を通じ活気に満ちあふれており、クロマグロ、ヒラメ、クルマエビなどの養殖業や、仙崎蒲鉾で全国に知られている蒲鉾製造業が盛んである。

また、140.403kmの海岸線は日本海の荒波による奇岩と紺碧の海のコントラストが調和する景観で国定公園に指定されている。

さらに、長門湯本温泉を始めとする温泉が各地に点在するとともに、童謡詩人で知られる金子みすゞ生誕の地でもあり、近年では、元乃隅神社がアメリカCNNの「日本の最も美しい場所31選」にも選出され、全国各地から訪れた観光客を魅了している。

山地は、下関市との境にある天井ヶ岳(標高691m)を最高に、600mを超える山は一位ヶ岳(672m)、花尾山(669m)があり概して低山であるが、険しい山相を形成している。平野部は深川川をはじめ、三隅川、掛瀬川、大坊川を中心に広がり稲作を中心に耕作されているが油谷向津具半島及び宇津賀地区においては、平野部がなくいわゆる棚田で耕作されている。

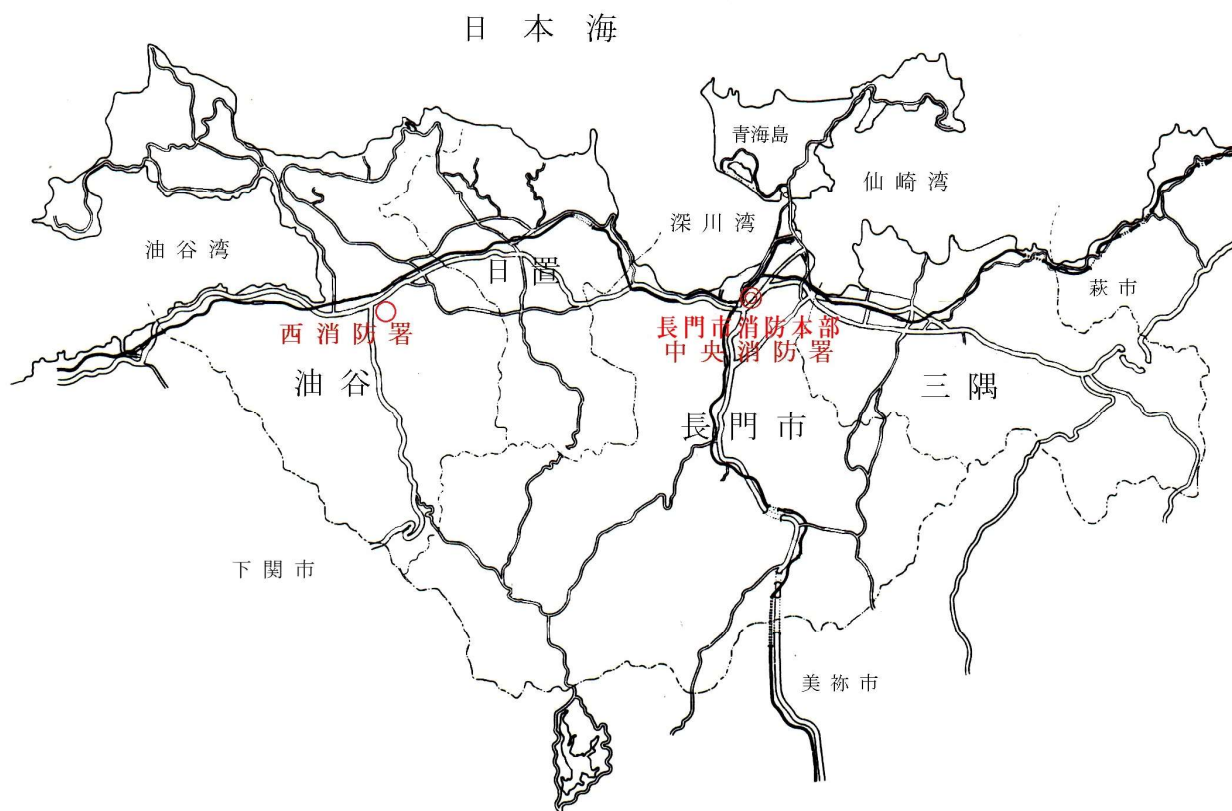
なお、平成17年3月22日に1市3町が広域合併し、長門市となった。

# 3 面積・人口及び世帯数

年別	面積 (k m <sup>2</sup> )		人口	世帯数
	全面積	山林面積		
令和4年	357.31	268.68	32,031	15,633
令和5年	357.31	268.68	31,328	15,562
令和6年	357.31	268.68	30,725	15,517
令和7年	357.31	268.68	29,969	15,363
令和8年	357.11	268.68	29,326	15,221

※面積については全国都道府県市区町村別面積調、人口・世帯数については令和8年4月1日現在

## 4 管内図



## 5 歴代消防長

	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	吉田政治	S47. 4. 1	S47. 11. 30
二代	見嶋達三	S47. 12. 1	S54. 1. 13
三代	坂本史朗	S54. 1. 14	H6. 3. 31
四代	野村元宏	H6. 4. 1	H13. 3. 31
五代	藤田良太	H13. 4. 1	H17. 3. 21
六代	宗重宏和	H17. 3. 22	H19. 3. 31
七代	廣田敏明	H19. 4. 1	H21. 3. 31
八代	大林育美	H21. 4. 1	H22. 3. 31
九代	大深順次	H22. 4. 1	H23. 3. 31
十代	吉岡務	H23. 4. 1	H25. 3. 31
十一代	財満俊夫	H25. 4. 1	H26. 3. 31
十二代	吉富一夫	H26. 4. 1	H27. 3. 31
十三代	中原弘文	H27. 4. 1	R2. 3. 31
十四代	杉村俊宏	R2. 4. 1	R4. 3. 31
十五代	岩本明	R4. 4. 1	

## 6 沿革

### 昭和47年度

4月 1日	長門市消防本部、長門市消防署を設置、職員数（定員）33名 初代消防長に吉田政治就任
10月 1日	長門市消防本部庁舎落成 鉄筋コンクリート造3階建、延床面積1,097.31㎡ 総工事費 4,260万円 消防、救急業務開始 消防職員 33名 救急自動車 1台 消防ポンプ自動車 1台 小型動力ポンプ付積載車 1台 水槽付消防ポンプ自動車 1台 その他の車両 4台
10月 1日	長門ライオンズクラブから救急自動車購入のための補助金を受ける
12月 1日	第2代消防長に見嶋達三就任

### 昭和48年度

4月 1日	広域消防発足（長門市・三隅町・日置村・油谷町）長門地区消防本部、長門地区消防署を長門市に、長門地区消防署西部出張所を油谷町に設置 消防職員（定員）58名
4月 5日	消防組織法第10条に基づく政令指定により三隅町、日置村、油谷町に消防本部、消防署の設置義務が課せられた
10月 4日	救急自動車1台を購入し本署に配置
1月15日	西部出張所庁舎落成 鉄筋コンクリート造平屋建、延床面積198.40㎡ 総工事費 1,440万円 西部出張所業務開始 消防職員 12名 小型動力ポンプ付積載車 1台 消防ポンプ自動車 1台 その他の車両 1台 救急自動車 1台
2月 5日	長門市俵山において山口県大火災防ぎょ演習実施

### 昭和49年度

4月 1日	下関地区広域行政事務組合と消防相互応援協定締結
5月22日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け本署に配置
8月 1日	萩市、美祢市及び仙崎海上保安部と消防相互応援協定締結
10月 1日	消防吏員1名を採用

### 昭和50年度

1月19日	「防火の日」「防火の時間」制定 防火の日 毎月19日 防火の時間 毎日午後9時
3月27日	アメダス気象観測所設置 下関地方気象台が西部出張所敷地内に気象観測所を設置

## 昭和51年度

4月 1日 消防吏員2名を採用

## 昭和52年度

6月 1日 管内市町村の役場、支所等に設置している119番の電話を本署、西部出張所に移設し119番の集中管理を開始

11月30日 15m級屈折はしご付消防ポンプ自動車購入、愛称を募集し「ひまわり」と命名、本署に配置

1月 1日 西部出張所1名増員

3月 7日 消防庁長官表彰（竿頭綬）受賞

## 昭和53年度

4月 1日 日置村が町制施行  
消防吏員1名、消防職員1名を採用

5月15日 長門市で自治体消防制度発足30周年記念第27回山口県消防大会を開催

9月 1日 本部に消防車庫増築（59.15㎡）

1月14日 第3代消防長に坂本史朗就任

3月 1日 救急テレホンサービス開始（休日診療、在宅当番医の案内電話を本署及び西部出張所に配置）

3月 7日 山口県知事表彰（表彰旗）受賞

山口県消防協会長表彰（表賞状）受賞

## 昭和54年度

4月 1日 消防吏員1名を採用

6月30日 火災予防の充実を図るため査察車を購入し本署に配置

11月 7日 日本顕彰会表彰（社会貢献団体）受賞

1月23日 山口県生命建物共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け本署に配置

2月15日 防災行政無線使用開始（山口県防災行政無線整備改善事業）本部、本署に設置

## 昭和55年度

8月27日 日本消防協会から消防指令広報車の寄贈を受け本部に配置

3月23日 山口県医療情報システム運用開始

## 昭和56年度

11月25日 日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け西部出張所に配置

## 昭和57年度

9月 1日 消防一斉通報装置（VIPコール）を本署に設置

12月28日 西部出張所の小型動力ポンプ積載車を更新

1月14日 全国に先駆け、三ない運動（寝たばこ、深酒、うたた寝）をスローガンとした三隅町老人防火救急クラブ発足

## 昭和58年度

5月26日 三隅町野波瀬地区で山口県総合防災訓練を実施

6月30日 本署の小型動力ポンプ積載車を更新

8月11日 日本消防協会から救急自動車の寄贈を受け本署に配置

- 10月14日 | 日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け本署に配置
- 10月24日 | 広域消防発足10周年記念式典を挙
- 3月9日 | 消防庁長官表彰（表彰旗）受賞

### 昭和60年度

- 11月25日 | 日本防火協会から防火広報車の寄贈を受け本部に配置

### 昭和61年度

- 4月1日 | 消防吏員1名を採用
- 6月10日 | 本部の水防車（ジープ）を更新
- 8月20日 | 日本消防協会から防災用伝達器材（携帯局10台、携帯用拡声器2台）の寄贈を受け本署に配置

### 昭和62年度

- 9月21日 | 本署の消防ポンプ自動車を更新
- 11月26日 | 油谷町掛漕、駅通地区で山口県大火防ぎょ演習を実施

### 昭和63年度

- 4月1日 | 広域消防発足15周年記念式典を挙
- 7月7日 | 本部の査察車を更新
- 10月20日 | 西部出張所の消防ポンプ自動車を更新

### 平成元年度

- 6月30日 | 本部の広報車を更新
- 10月17日 | 消防用無線電話機（基地局2、移動局7、携帯局2）を更新
- 11月9日 | 三隅町で長門地区老人防火救急クラブ大会を開催

### 平成2年度

- 5月16日 | 長門市湯本で全国消防長会人事教養委員会を開催
- 5月21日 | ゴルフカートを改造しミニ消防車を制作、愛称を募集し「ミニファイヤー」と命名
- 12月15日 | 救助工作車を購入し本署に配置
- 2月15日 | 山口県生命建物共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け西部出張所に配置
- 2月28日 | 日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け本署に配置

### 平成3年度

- 4月1日 | 消防吏員3名を採用
- 8月9日 | 日本消防協会から救急自動車の寄贈を受け本署に配置
- 10月27日 | 長門市で山口県幼年消防クラブ大会を開催
- 10月31日 | 本部に消防車庫新築  
鉄骨造平屋建、床面積112.39㎡  
総工事費603万円
- 3月7日 | 山口県知事表彰（竿頭綬）受賞

### 平成4年度

- 4月1日 | 消防吏員3名を採用

5月20日	本署の有線電話をダイヤルイン方式に更新
7月29日	本署の小型動力ポンプ積載車を更新
9月4日	山口県衛星通信ネットワーク運用開始
12月25日	本署の消防ポンプ自動車を更新
<b>平成5年度</b>	
4月1日	職員定数条例の改正により、職員定数が64名となった。 消防吏員3名を採用し実員61名。週休2日制実施
5月25日	広域消防発足20周年記念式典を挙
7月30日	西部出張所の小型動力ポンプ積載車を更新
8月9日	救急高度化に伴う救急資機材(9項目)を本署に配置
<b>平成6年度</b>	
4月1日	第4代消防長に野村元宏就任 消防組織を改編し、長門地区消防署を長門地区中央消防署に、長門地区消防署西部出張所を長門地区西消防署に改称 消防吏員4名を採用し実員64名
7月15日	日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車の寄贈を受け中央消防署に配置
7月20日	救急高度化に伴う救急資機材(9項目)を西消防署に配置
11月20日	長門市仙崎で第14回全国豊かな海づくり大会が開催され、天皇陛下御幸啓に伴い消防特別警戒を実施
1月12日	西消防署事務室増築(増築面積:40.63㎡) 鉄筋コンクリート造平屋建、床面積239.03㎡ 総工事費17,809千円
<b>平成7年度</b>	
4月1日	消防吏員2名を採用
5月12日	救急救命士資格取得1名
5月31日	長門市で第44回山口県消防大会を開催
8月7日	長門ライオンズクラブから救急訓練用人形2体の寄贈を受ける
8月10日	日本消防協会から消防指令広報車の寄贈を受け西消防署に配置
2月15日	消防本部庁舎1階・中央消防署事務室増築(増築面積:47.47㎡) 鉄筋コンクリート造3階建、延床面積1,203.93㎡ 総工事費40,293千円
<b>平成8年度</b>	
4月1日	山口県内広域消防相互応援協定の締結
5月14日	救急救命士資格取得1名
11月19日	救急救命士資格取得1名
12月25日	高規格救急自動車を中央消防署に配置
2月3日	中央消防署高度救急業務運用開始
3月6日	消防用無線中継局運用開始
<b>平成9年度</b>	

5月13日	長門市で全国消防長会財政委員会を開催
6月6日	長門市で第7回山口県危険物安全大会を開催
9月1日	長門市総合公園を主会場に市内3会場で山口県総合防災訓練を実施
11月12日	救急救命士資格取得1名
<b>平成10年度</b>	
11月12日	救急救命士資格取得1名
12月8日	中央消防署配置の15m級屈折はしご付消防ポンプ自動車をはしご付消防自動車(30m級)に更新
2月18日	山口県共済農業協同会連合会及び長門大津農業協同組合から救急自動車の寄贈を受け中央消防署に配置
3月30日	日本損害保険協会から高規格救急自動車の寄贈を受け西消防署に配置
<b>平成11年度</b>	
6月29日	本部の査察車を更新
10月29日	西消防署高規格救急自動車に高度救命処置用資機材を積載
10月29日	消防本部庁舎補修工事(床及び外壁) 総工事費5,775千円
10月29日	西消防署車庫増築及びホース洗い場改修工事(増築面積:38.69㎡) 鉄筋コンクリート造平屋建、床面積277.72㎡ 総工事費5,145千円
11月1日	西消防署高度救急業務運用開始
11月12日	救急救命士資格取得1名
11月23日	通信指令装置更新
1月4日	山口県消防防災ヘリコプター隊員に1名派遣
<b>平成12年度</b>	
4月1日	消防吏員1名採用し、定数外1名
7月1日	高度救急業務24時間指示体制確立
9月1日	本部の広報車を更新
11月1日	救急救命士資格取得1名
2月15日	中央消防署に救急消毒室新設 総工事費8,925千円
<b>平成13年度</b>	
4月1日	第5代消防長に藤田良太就任
4月1日	消防吏員3名採用
5月11日	救急救命士資格取得1名
9月10日	指揮車更新
10月26日	長門市で第16回山口県幼年消防クラブ大会を開催
11月2日	交替制勤務者の3部制実施
3月11日	西消防署に救急消毒室新設 総工事費7,665千円

## 平成14年度

- 4月 1日 消防吏員1名採用
- 9月 9日 ポストメディック（郵便救急隊）発足
- 11月14日 救急救命士資格取得1名

## 平成15年度

- 9月 9日 救急ステーション（応急救護支援事業所）事業発足
- 10月20日 中央消防署の消防ポンプ自動車を更新
- 11月17日 救急救命士資格取得1名
- 11月20日 中央消防署の資機材搬送車を更新
- 1月23日 （財）救急振興財団から、心肺蘇生訓練用シミュレーターの寄贈を受ける

## 平成16年度

- 4月 1日 消防吏員2名採用
- 4月 1日 緊急援助隊として消火部隊、救急部隊、特殊装備部隊の3隊を登録
- 7月14日 三隅町で平成16年度山口県消防長研修会を開催
- 9月 9日 長門市で平成16年度山口県救急フェアin長門を開催
- 3月18日 安全・安心のまちづくりのための、ポストメディック事業及び救急ステーション制度が評価を受け、毎日新聞社から「毎日・地方自治大賞特別賞」を受賞
- 3月21日 一部事務組合の構成団体である長門市、三隅町、日置町及び油谷町が合併することにより長門地区広域行政事務組合を解散
- 3月22日 長門市、三隅町、日置町及び油谷町の1市3町の合併により新市「長門市」が誕生 第6代消防長に宗重宏和就任  
新市発足により、長門地区消防本部を長門市消防本部に、長門地区中央消防署を長門市中央消防署に、長門地区西消防署を長門市西消防署に名称変更  
長門市消防本部に消防団係を新設し、消防職員の定員を67名とした  
また、消防団組織についても1市3町の消防団を統合、1団本部、12分団、42部隊に編成し、定員1,197名とした

## 平成17年度

- 7月28日 西消防署の資機材搬送車を更新
- 10月19日 携帯電話119直接受信装置を設置し、県下一斉に運用開始
- 12月22日 中央消防署の高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材を更新
- 3月27日 自家発電設備設置

## 平成18年度

- 4月 1日 職員数条例の改正により、職員定数が70名となる
- 4月 1日 消防吏員2名採用
- 4月 1日 「長門市自動体外式除細動器購入費助成事業」開始
- 9月 2日 長門市消防防災訓練実施 防災関係機関等450名参加
- 11月 9日 はしご付消防自動車のオーバーホールを実施
- 11月29日 下関・長門地域MC協議会開催
- 12月25日 キュービクル受変電設備設置

## 平成19年度

- 4月 1日 第7代消防長に廣田敏明就任
- 4月 1日 消防吏員4名採用
- 11月16日 (財)日本防火協会の助成事業により、模擬消火訓練装置を購入
- 2月22日 西消防署の消防ポンプ自動車を更新し、救助資機材を積載
- 3月19日 山口県総合防災情報ネットワークシステム(地上・衛星系)構築による運用開始

## 平成20年度

- 4月 1日 消防吏員4名採用
- 8月25日 小型動力ポンプ付積載車2台、小型動力ポンプ5台更新(消防団)

## 平成21年度

- 4月 1日 第8代消防長に大林育美就任
- 4月 1日 消防吏員7名採用
- 6月26日 エアーテント購入
- 7月 9日 小型動力ポンプ2台更新(消防団)
- 9月17日 消防ポンプ自動車1台更新(仙崎分団第4部隊)
- 10月20日 西消防署の高規格救急自動車を更新
- 12月25日 地図検索システム導入
- 3月31日 深川北第2部隊(上ノ原)消防機庫建設

## 平成22年度

- 4月 1日 第9代消防長に大深順次就任
- 4月 1日 消防吏員4名採用
- 7月 1日 消防団の定員を1,070名とした
- 8月25日 小型動力ポンプ1台更新(三隅第2分団市部隊)
- 12月 6日 中央消防署の救助工作車を更新
- 3月11日 日本消防協会から防災活動車の寄贈を受け中央消防署に配置

## 平成23年度

- 4月 1日 第10代消防長に吉岡 務就任
- 4月 1日 消防吏員4名採用
- 9月 8日 西消防署仮眠室改修
- 9月13日 中央消防署仮眠室改修
- 11月 9日 小型動力ポンプ付積載車1台更新(三隅第3分団浅田部隊)  
小型動力ポンプ1台更新(三隅第3分団沢江部隊)
- 3月12日 中央消防署の高規格救急自動車を更新
- 3月30日 仙崎分団第2部隊(大泊)消防機庫建設

## 平成24年度

- 4月 1日 消防吏員5名採用
- 6月 7日 長門市で第22回山口県危険物安全大会を開催
- 7月24日 小型動力ポンプ1台更新(深川北分団第3部隊上川西)
- 10月23日 長門大津農業協同組合及び全国共済農協協同組合連合会山口県本部から、消防用

- 資材搬送車の寄贈を受け、中央消防署に配備
- 1 1 月 1 3 日 長門市湊 1 西区において、全半焼等を含め 2 2 棟を焼損する火災発生  
焼損面積 1, 2 4 3 m<sup>2</sup> り災世帯 2 0 世帯 4 3 人
- 1 月 2 9 日 小型動力ポンプ積載車 1 台更新 (深川南分団第 1 部隊)
- 3 月 5 日 向津具分団大浦部隊消防機庫建設
- 3 月 2 7 日 消防・救急デジタル無線整備完了 (平成 2 5 年 4 月 1 日運用開始)

### 平成25年度

- 4 月 1 日 第 1 1 代消防長に財満俊夫就任
- 4 月 1 日 消防吏員 3 名採用
- 9 月 1 0 日 小型動力ポンプ 1 台更新 (宇津賀分団立石部隊)
- 1 1 月 1 5 日 西消防署の指揮車を更新
- 1 2 月 1 8 日 小型動力ポンプ積載車 1 台更新 (深川北分団第 2 部隊上ノ原)
- 1 2 月 2 1 日 消防ポンプ自動車更新 (通分団第 1 部隊・日置分団第 3 部隊)
- 2 月 2 7 日 総務省より救助資機材付消防ポンプ自動車無償貸付 (仙崎分団第 3 部隊)
- 3 月 2 7 日 中央消防署の災害対応特殊消防ポンプ自動車を更新

### 平成26年度

- 4 月 1 日 第 1 2 代消防長に吉富一夫就任
- 4 月 1 日 消防吏員 5 名採用
- 5 月 2 日 新消防庁舎建設基本・実施設計業務委託契約締結
- 7 月 2 8 日 小型動力ポンプ 1 台更新 (俵山分団第 1 部隊大羽山)
- 8 月 4 日 小型動力ポンプ 1 台更新 (深川南分団第 3 部隊洪水)
- 1 0 月 2 0 日 消防ポンプ自動車更新 (深川北分団第 1 部隊湊)
- 1 2 月 2 2 日 日本損害保険協会から、小型動力ポンプ付軽消防自動車寄贈  
(深川南分団第 3 部隊大埤)
- 1 月 1 1 日 長門市初女性消防団員 2 名入団
- 3 月 6 日 災害対応特殊化学消防ポンプ自動車を中央消防署に配置
- 3 月 2 6 日 宇津賀分団後畑部隊消防機庫建設

### 平成27年度

- 1 月 1 2 日 向津具分団田久道部隊を久津部隊に統合し、4 1 部隊となった
- 4 月 1 日 第 1 3 代消防長に中原弘文就任
- 4 月 1 日 消防吏員 3 名採用
- 8 月 2 5 日 台風 1 5 号による被害
- 9 月 2 6 日 新消防庁舎建設工事着手
- 9 月 2 8 日 新消防庁舎建設工事起工式・安全祈願祭
- 1 0 月 8 日 昭和 5 0 年 1 月 1 9 日に制定された「防火の日」の「防火の時間」が変更  
防火の日 毎月 1 9 日 防火の時間 毎日午後 7 時
- 1 2 月 2 日 消防ポンプ自動車 1 台更新 (向津具分団川尻部隊)
- 1 2 月 2 日 小型動力ポンプ付積載車 1 台更新 (三隅第 2 分団野波瀬部隊)
- 1 月 1 日 機能別消防団員制度運用開始

1月23日 | 大寒波による水道管破裂等の被害

## 平成28年度

- 4月 1日 | 消防吏員2名採用
- 9月27日 | 本部の消防団指令車を更新
- 10月18日 | 小型動力ポンプ1台更新(俵山分団第2部隊湯町)
- 11月10日 | 旧消防庁舎解体工事着手
- 11月30日 | 新消防庁舎建築工事完了
- 12月 5日 | 新消防庁舎運用開始
- 12月15日 | 日露首脳会談開催(長門市湯本)に伴う警備
- 3月 2日 | 小型動力ポンプ付積載車1台更新(深川北分団第2部隊下郷)  
小型動力ポンプ積載車1台更新(三隅第2分団市部隊)
- 3月10日 | 消防ポンプ自動車1台更新(日置分団第2部隊)

## 平成29年度

- 4月 1日 | 消防吏員1名採用(初の女性消防吏員)
- 6月27日 | はしご付消防自動車のオーバーホールを実施
- 6月30日 | 新消防庁舎建設事業完了  
鉄筋コンクリート造4階建、床面積2,658.86㎡  
総工事費16億3,014万円
- 7月12日 | 新消防庁舎竣工式
- 9月19日 | 小型動力ポンプ1台更新(向津具分団本郷部隊)
- 11月28日 | 消防ポンプ自動車1台更新(向津具分団大浦部隊)
- 12月14日 | 中央消防署の災害対応特殊高規格救急自動車を更新
- 2月14日 | 小型動力ポンプ積載車更新(深川北分団第2部隊境川、三隅第3分団沢江部隊)
- 3月 6日 | 深川南分団第2部隊消防機庫建設
- 3月22日 | 日置分団第1部隊消防機構建設

## 平成30年度

- 4月 1日 | 消防吏員2名採用
- 10月28日 | 小型動力ポンプ1台更新(通分団第1部隊)
- 12月17日 | 本部の指揮車を更新
- 1月25日 | 消防ポンプ自動車1台更新(俵山分団第2部隊)
- 2月21日 | 深川北分団第3部隊消防機庫建設
- 2月28日 | 小型動力ポンプ付積載車2台更新(三隅第1分団滝坂部隊、宇津賀分団立石部隊)

## 令和元年度

- 4月 1日 | 消防吏員1名採用  
三隅第1分団兎渡谷部隊を宗頭部隊に統合し、40部隊となった
- 12月13日 | 本部の広報車を更新
- 2月25日 | 西消防署の高規格救急自動車を更新
- 3月 9日 | 消防ポンプ自動車1台更新(俵山分団第1部隊)  
小型動力ポンプ付積載車更新(向津具分団本郷部隊)

## 令和2年度

- 4月 1日 第14代消防長に杉村俊宏就任  
消防吏員2名採用
- 11月18日 本部の査察車を更新
- 12月24日 中央消防署の資機材搬送車を更新
- 12月25日 三隅第2分団野波瀬部隊消防機庫建設
- 1月 1日 上中小野部隊と下中小野部隊を中小野部隊に統合し、39部隊となった
- 1月22日 小型動力ポンプ付積載車更新(宇津賀分団津黄部隊、後畑部隊、角山部隊)
- 3月25日 総務省より救助資機材付消防ポンプ自動車無償貸付(日置分団第1部隊)

## 令和3年度

- 4月 1日 消防吏員1名採用
- 1月25日 中央消防署の30m級はしご付自動車を更新(先端屈折式)

## 令和4年度

- 4月 1日 第15代消防長に岩本明就任  
消防吏員2名採用
- 9月 1日 小型動力ポンプ1台更新(油谷分団蔵小田部隊)
- 11月24日 中央消防署の災害対応特殊消防ポンプ自動車を更新
- 12月 7日 一般財団法人救急振興財団より救急普及啓発広報車の寄贈を受け、中央署に配置
- 12月26日 西消防署の資機材搬送車を更新
- 1月27日 西消防署庁舎建設基本・実施設計業務委託契約締結
- 2月10日 小型動力ポンプ積載車更新(深川南分団第3部隊)

## 令和5年度

- 4月 1日 消防吏員2名採用
- 8月30日 小型動力ポンプ1台更新(三隅第1分団中小野部隊)
- 1月 1日 通分団通第1部隊と第2部隊を通部隊に統合し、38部隊となった
- 1月19日 中央消防署の災害対応特殊救急自動車を更新
- 3月27日 下関市・美祢市・長門市消防指令業務共同運用に係る「高機能消防指令センターシステム整備工事」に関する覚書締結(令和8年2月運用開始予定)
- 3月28日 小型動力ポンプ付積載車更新(日置分団第2部隊、向津具分団久津部隊)

## 令和6年度

- 4月 1日 消防吏員2名採用
- 1月 1日 消防団の定員を950名とした  
宇津賀分団津黄部隊と立石部隊を後畑部隊に統合し、36部隊となった
- 3月28日 新西消防署庁舎建設事業完了  
鉄筋コンクリート造平屋建、床面積475.02㎡  
総工事費3億4,480万円  
小型動力ポンプ付積載車1台更新(仙崎分団第1部隊)  
小型動力ポンプ積載車1台更新(三隅第3分団小島部隊)

## 令和7年度

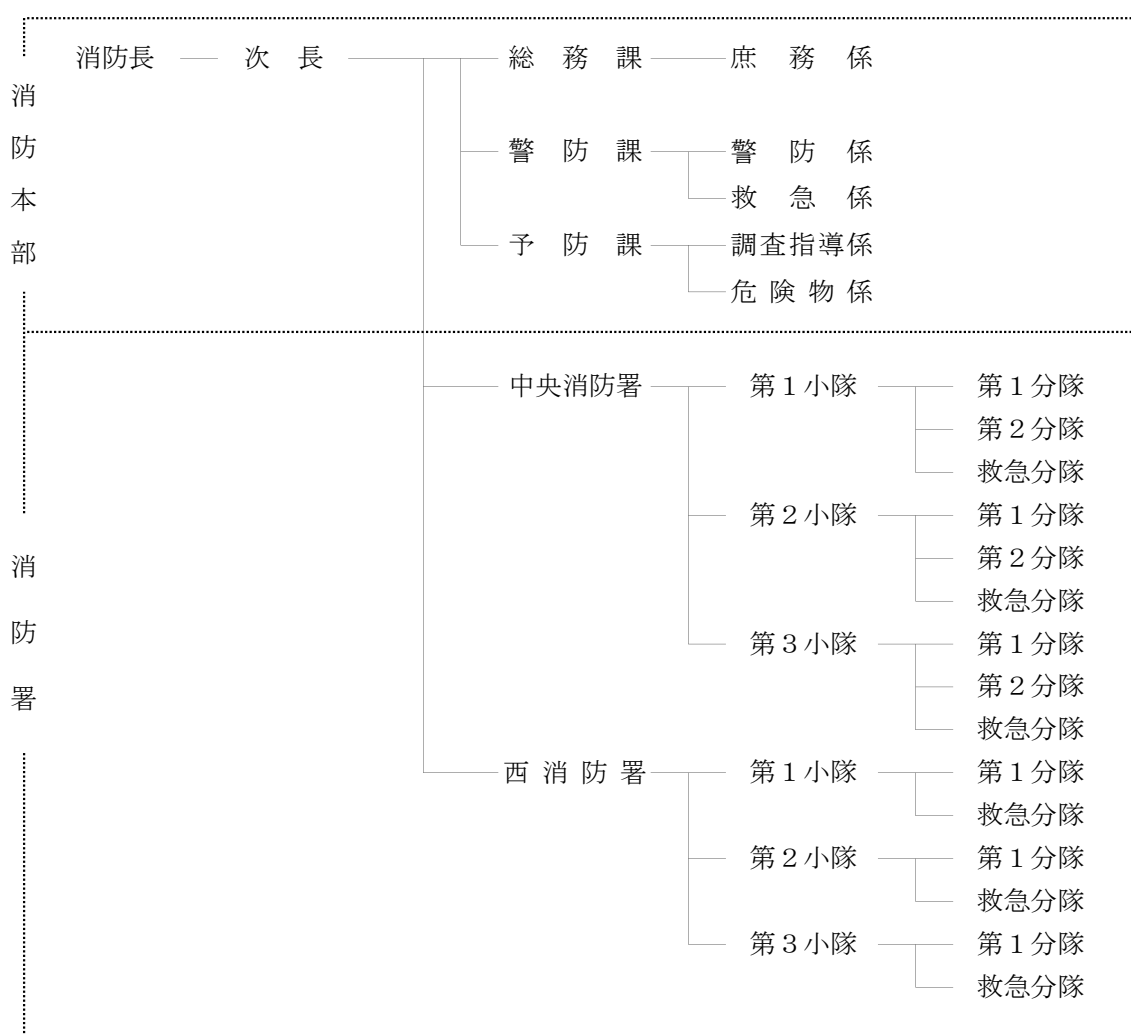
4月 1日	消防吏員2名採用
4月 8日	新西消防署新庁舎竣工式
4月12日	新西消防署運用開始
10月31日	消防ポンプ自動車1台更新（仙崎分団第2部隊）
1月21日	小型動力ポンプ1台更新（仙崎分団第4部隊）
2月25日	山口西部消防指令センター運用開始
3月16日	通分団通部隊消防機庫建設

## 7 消防信条

- 一、 我等の消防精神は郷土愛に発する。
- 一、 我等の団結は規律と友愛によりさらに固し。
- 一、 我等の訓練は即ち実戦の構えなり。
- 一、 我等の知識技能はあくなき探求心により日々進歩すべし。
- 一、 我等の誇りは身をもって危難にあたる勇氣なり。

## 8 消防本部・消防署組織表

(令和8年4月1日現在)



## 9 消防庁舎の状況

### (1) 長門市消防本部・長門市中央消防署 平成29年6月30日竣工



所在地 長門市東深川1902番地1

敷地面積 3,582.55㎡

消防庁舎 鉄筋コンクリート造4階建

延床面積 2,403.76㎡

主訓練塔 鉄筋コンクリート造5階建

延床面積 224.27㎡

### (2) 長門市西消防署 令和7年3月28日竣工



所在地 長門市油谷河原566番地7

敷地面積 1705.28㎡

消防庁舎 鉄筋コンクリート造平屋建

延床面積 475.02㎡

# 総務

# 1 人 事

## (1) 消防職員の配置状況

(令和8年4月1日現在)

階 級 区 分		計	階 級						
			消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員
消 防 本 部	消防長	1	1						
	次長	1		1					
	総務課	9 (3)		4	3 (1)	(2)		2	
	予防課	5 (5)		2	1 (1)	1 (3)		1 (1)	
	うち女性	1						1	
	警防課	4 (4)		2	1 (1)	1 (3)			
	小 計	20 (12)	1	9	5 (3)	2 (8)		4 (1)	
消 防 署	中央消防署	34		3	9	15		7	
	西消防署	16		2	3	8		3	
	小 計	50		5	12	23		10	
合 計		70 (12)	1	14	17 (3)	25 (8)		14 (1)	
うち女性		1						1	

※ ( ) は本部・署間の兼務者数

## (2) 年齢別消防職員数

(令和8年4月1日現在)

階級別 年齢別	計	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	事務吏員
計	70 (1)	1	14	17	25		13 (1)	
20歳未満	3						3	
20～24	6 (1)						6 (1)	
25～29	4						4	
30～34	12				12			
35～39	16			3	13			
40～44	11			11				
45～49	5		2	3				
50～54	8		8					
55歳以上	5	1	4					
平均年齢	37.9	58.0	52.2	41.6	34.5		22.8	

※( )は女性職員

## (3) 在職年数別消防職員数

(令和8年4月1日現在)

階級別 在職年数別	計	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	事務吏員
計	70 (1)	1	14	17	25		13 (1)	
1年未満	2						2	
1～4	7 (1)						7 (1)	
5～9	4						4	
10～14	16				16			
15～19	20			11	9			
20～24	5			5				
25～29	2		1	1				
30年以上	14	1	13					
平均在職年数	17.3	40.0	32.7	19.2	13.6		3.2	

※( )は女性職員

## (4) 消防職員の特特殊技能・免許取得状況

(令和8年4月1日現在)

階級別 人員		計	50	40	30	20	20
			歳	歳	歳	歳	歳
資格別		70	以上	～ 49	～ 39	～ 29	未 満
自動車 ・ 二輪	大型一種	36	5	12	18	1	
	大型特殊	2		2			
	中型一種	4		1	3		
	中型（8 t 限定）	14	8	3	3		
	準中型						
	準中型（5 t 限定）	5			4	1	
	普通一種	11				8	3
	自動二輪	19	4	7	7	1	
消防設備	消防設備士（甲種）	2	1	1			
	消防設備士（乙種）	4	1	1	2		
無線	特殊無線技士	1	1				
	第2級特殊無線技士	18	12	6			
	第3級特殊無線技士	49		10	28	9	2
その他 の 免 許 等	玉掛け・小型移動式クレーン	34	4	12	17	1	
	危険物取扱者	34	6	12	14	2	
	救急Ⅱ課程（標準課程）	48	5	11	22	8	2
	救急救命士	21	8	5	6	2	
	足場組立責任者	4		1	3		
	ガス溶接技能士	3	1		1		1
	特定化学物質等作業主任者	1	1				
	小型船舶操縦士	6	3	1	2		
	潜水士	2	2				
	チェーンソー特別教育	5	2	2	1		
予防技術検定（各種）	37	5	11	20	1		

### (5) 消防職員の研修状況

教育科目		年度別						
		計	3	4	5	6	7	
消防大学校	警防科							
	火災調査科							
救急救命研修	救急救命士							
	気管挿管	4	1	1	1	1		
	指導救命士	1		1				
消防実務講習会		6		4		2		
企業防災対策指導研修会		3	1	1	1			
違反是正事例発表会		9	2	1	1	4	1	
調査技術会議		9		2	3	1	3	
山口県 消防学校	初任総合教育	9	1	2	2	2	2	
	幹部教育	初級幹部科	3	1		1		1
		中級幹部科	2		1		1	
	専科教育	予防査察科	3			1	1	1
		火災調査科	5	1	1	1	1	1
		救助科	7	2	2	1	1	1
	その他の教育	大規模災害対策科	5	1	1	1	1	1
計		66	10	17	13	13	13	

### (6) 部外者による教養状況

教養内容		年度別					
		計	3	4	5	6	7
救急症例検討会		2		1			1
交通安全講習会		5	1	1	1	1	1
ハラスメント講習会		6		2	1	2	1
計 (回)		13	1	4	2	3	3

## 2 予 算

### (1) 令和8年度当初予算

(単位：千円)

項 目	節	予 算 額
消 防 費	総 合 計	769,500
常 備 消 防 費	合 計	625,761
	給 料	277,524
	職 員 手 当 等	200,298
	共 済 費	87,121
	報 償 費	20
	旅 費	1,478
	需 用 費	30,951
	役 務 費	5,703
	委 託 料	1,823
	使 用 料 及 び 賃 借 料	4,390
	備 品 購 入 費	6,175
	負 担 金、補 助 及 び 交 付 金	9,856
	公 課 費	422
非 常 備 消 防 費	合 計	133,689
	報 酬	48,930
	報 償 費	70
	旅 費	3,652
	需 用 費	9,112
	役 務 費	623
	委 託 料	1,903
	使 用 料 及 び 賃 借 料	935
	工 事 請 負 費	12,892
	備 品 購 入 費	32,624
	負 担 金、補 助 及 び 交 付 金	21,811
公 課 費	1,137	
消 防 施 設 費	合 計	10,050
	需 用 費	454
	使 用 料 及 び 賃 借 料	21
	負 担 金、補 助 及 び 交 付 金	9,575

## (2) 一般会計予算と消防費の比較

令和8年4月現在（単位：千円）

一般会計予算額	消防費予算額	割合 (%)	消 防 費					
			常 備 消防費	割合 (%)	非常備 消防費	割合 (%)	消 防 施設費	割合 (%)
22,080,000	769,500	3.5%	625,761	81.3%	133,689	17.4%	10,050	1.3%

## (3) 消防費と人口・世帯数との比較

令和8年4月現在（単位：千円）

令和8年度 消防費予算額	人口1人当 平均負担額	1世帯当 平均負担額
769,500	26	51

## (4) 現有消防力と面積・世帯・人口の割合

令和8年4月現在

消防職員1人に対して			消防署数に対して			常備消防ポンプ自動車 1台に対して			救急車1台に対して		
70人			2署			3台			3台		
面積(k㎡)	人 口	世帯数	面積(k㎡)	人 口	世帯数	面積(k㎡)	人 口	世帯数	面積(k㎡)	人 口	世帯数
5.1	419	217	178.7	14,663	7,611	119.1	9,775	5,074	119.1	9,775	5,074

予 防

# 1 防火対象物の状況

用途		区分	防火対象物数	防火管理者選任数	防災管理者選任数	防火対象物定期点検報告対象物数	立検入数
計			1,515	346	3	34	523
1	イ	劇場、映画館等	1	1		1	1
	ロ	公会堂又は集会場	1	1		1	1
2	イ	キャバレー、カフェー等					
	ロ	遊技場、ダンスホール	2	1		1	2
	ハ ニ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等 カラオケボックス等	1	1			1
3	イ	待合、料理店等					
	ロ	飲食店	24	16		2	20
4		百貨店、店舗、マーケット等	58	50		10	58
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	101	28	1	8	97
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	195	8			40
6	イ	(1) 病院	1				1
		(2) 診療所					
		(3) (1)、(2)以外の病院及び診療所	10	4	1	3	10
		(4) 入院施設のない診療所	15	3			14
	ロ	(1) 老人短期入所施設	22	9			22
		(2) 救護施設					
		(3) 乳児院					
		(4) 障害児入所施設					
		(5) 障害者支援施設	3	3			3
	ハ ニ	(1) 老人デイサービスセンター	8	2			7
		(2) 更生施設					
		(3) 助産施設、保育所	12	4			12
		(4) 児童発達支援センター	1				1
(5) 障害者支援施設		11	4			11	
二	幼稚園又は特別支援学校	2	2			2	
7		小学校、中学校、高等学校等	63	16			5
8		図書館、博物館、美術館等	8	4			2
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等					
	ロ	イ以外の公衆浴場	5	4			1
10		車両の停車場等	2				
11		神社、寺院、教会等	53	38			13
12	イ	工場、作業場	257	5	1		40
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	2				
13	イ	自動車車庫又は駐車場	25				8
	ロ	飛行機等の格納庫					
14		倉庫	221				43
15		前各項に該当しない事業場	328	56			55
16	イ	複合用途対象物（特定を含む）	46	52		8	46
	ロ	複合用途対象物（その他）	29	32			2
16の2		地下街					
16の3		準地下街					
17		重要文化財、史跡等	8	2			5

備考 防火対象物数は休止中等を含む。

## 2 中高層建築物の状況

階数	棟数
計	53
10階	2
9階	
8階	2
7階	2
6階	6
5階	11
4階	30

## 3 各種届出等事務処理件数

届出の種類	受理数
防火対象物使用開始届	18
火気使用設備等設置届	8
電気設備等設置届	5
ネオン管灯設備設置届	
水素ガスを充填する気球の設置届	
焚火行為等届	715
煙火打上げ、仕掛け届	12
催物開催届	1
水道断減水届	2
道路工事届	119
露店等の開設届	53
少量危険物等貯蔵取扱届	18
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届	4
防火(防災)管理者選解任届	45
消防計画作成変更届	51
工事整備対象設備等着工届	32
消防用設備等設置届	71
消防用設備等点検結果報告書	496
防火(防災)対象物定期点検結果報告書	9
屋外催しに係る防火管理	

#### 4 建築同意事務の状況

内 訳 区分	計	建 築 種 別 内 訳							
		新 築	増 築	改 築	移 転	修 繕	模 様 替	用 途 変 更	そ の 他
計	30	24	6						
確認申請	28	22	6						
計画通知	2	2							
許可申請									

#### 5 広報等の実施状況

内 容	区 分	実 施 数	参 加 者
巡回広報		22	75
有線テレビ、短波放送による広報		11	55
防火管理講習会		1	28
防火講習会		5	256
防火パレード		1	39

## 6 危険物

### (1) 危険物施設の状況

施設種別	区分	施設数	5倍以下	5倍超 10倍以下	10倍超 50倍以下	50倍超 100倍以下	100倍超 150倍以下	150倍超 200倍以下	200倍超	立入 検査数
合計		158	56	24	50	16	6	4	2	143
貯蔵所	計	98	48	13	30	7				88
	屋内貯蔵所	17	11	4	2					14
	屋外タンク貯蔵所	33	4	2	21	6				29
	屋内タンク貯蔵所	2	1	1						1
	地下タンク貯蔵所	28	15	5	7	1				27
	簡易タンク貯蔵所									
	移動タンク貯蔵所	17	17							16
	屋外貯蔵所	1		1						1
取扱所	計	60	8	11	20	9	6	4	2	55
	給油取扱所	40	2	5	12	9	6	4	2	38
	一般取扱所	20	6	6	8					17

備考 施設数は休止中等を含む。

### (2) 各種届出等事務処理件数

区分	設置		変更		完成検査前検査申請 (水圧・水張)	仮使用承認申請	仮貯蔵・仮取扱承認申請	予防規程制定・変更認可申請	品名・数量又は指定数量の倍数変更届	保安監督者選解任届	軽微変更届	休止・再開届	譲渡・引渡届	廃止届
	許可申請	完成検査申請	許可申請	完成検査申請										
受理数			3	4		1		1	1	18	10		1	1

## 7 消防クラブの状況

令和8年4月1日現在

	名 称	所 在 地	結 成 年 月 日	ク ラ ブ 員 数
幼 年	あおい幼稚園幼年消防クラブ	長門市白瀉2区	昭和59年2月26日	123名
	みすゞ保育園幼年消防クラブ	〃 錦町	昭和59年3月4日	58名
	みのり保育園幼年消防クラブ	〃 板持4区	平成19年4月2日	105名
	深川幼稚園幼年消防クラブ	〃 正明市5区	昭和60年7月13日	118名
	俵山幼児園幼年消防クラブ	〃 大羽山	昭和61年11月29日	2名
	三隅保育園幼年消防クラブ	〃 豊原	平成17年4月1日	74名
	日置保育園幼年消防クラブ	〃 古市	昭和60年5月21日	38名
	菱海保育園幼年消防クラブ	〃 東大坊	昭和57年12月1日	33名
	向津具保育園幼年消防クラブ	〃 久津	平成23年4月1日	4名
	小 計	9クラブ		555名
婦 人	日置婦人防火クラブ	長門市日置	平成4年3月30日	702名
	小 計	1クラブ		702名
老 人	長門市老人防火クラブ連合会	長門市正明市2区	平成19年7月1日	699名
	小 計	1クラブ		699名
合 計		12クラブ		1,956名

警 防

# 1 消防車両配置状況

(令和8年4月1日現在)

所属	車 両 名 称	種 別	メーカー	購入年・月	定員	型別・ポンプ級別等
消 防 本 部	長門指揮1	指揮車	トヨタ	平成25年11月	5	
	長門広報1	広報車	日産	令和元年12月	8	
	長門査察1	査察車	トヨタ	令和2年11月	8	
	長門団指令1	消防団指令車	日産	平成28年9月	5	
	長門防活1	防災活動車	スバル	平成23年3月	4	
中 央 消 防 署	長門ポンプ1	消防ポンプ自動車	日野	令和4年11月	5	CD-I型 A2
	長門ポンプ2	消防ポンプ自動車	日野	平成26年3月	5	CD-I型 A2
	長門はしご1	はしご車	日野	令和4年1月	6	30m級先端屈折式
	長門化学1	化学消防ポンプ自動車	日野	平成27年3月	6	II型 A2
	長門救急1	高規格救急自動車	トヨタ	令和6年1月	7	
	長門救急2	高規格救急自動車	トヨタ	平成29年12月	7	
	長門救助1	救助工作車	日野	平成22年12月	6	II型
	長門積載1	資材搬送車	トヨタ	令和2年12月	2	
	長門支援1	資材搬送車	日産	平成24年10月	3	
	長門救急3	高規格救急自動車	日産	平成24年3月	7	
西 消 防 署	長門普及啓発	広報車	日産	令和4年12月	4	
	長門西指揮1	指揮車	日産	平成30年12月	5	
	長門西ポンプ1	消防ポンプ自動車	日野	平成20年2月	5	CD-I型 A2
	長門西救急1	高規格救急自動車	日産	令和2年2月	7	
	長門西積載1	資材搬送車	ダイハツ	令和4年12月	2	

# 2 通信施設状況

種別	区分	設 置 場 所	数 量
基 地 局 (5局)		長門市消防本部	1
		俵山中継所	1
		日置雨乞山中継所	1
		日尾中継所	1
		華 山	1
固 定 局 (7局)		長門市消防本部	1
		俵山中継所	1
		日置雨乞山中継所	1
		日 尾	1
		華 山	1
		霊 鷲 山	1
		下関市消防局	1
陸上移動局 車 載 (21局)		消防本部	5
		中央消防署	11
		西消防署	5
陸上移動局 携 帯 (18局)		消防本部	3
		中央消防署	11
		西消防署	4
陸上移動局 アナログ携帯 (34局)		長門市消防本部	34

### 3 消防用資器材の状況

区分	品名	数量	区分	品名	数量	
一般救助用	かぎ付はしご	5	水難救助	救命浮輪	15	
	三連はしご	2		救命胴衣	27	
	救命索発射銃	1		ウエットスーツ一式	13	
	マンホール救助器具	1		救命ボート	2	
重量物排除用	ラムシリンダー	1	その他の救助用	投光器一式	9	
	油圧スプレッダー	1		携帯拡声器	8	
	マット型空気ジャッキ一式	1		可搬発電機	7	
	可搬ウインチ	2		発電機付投光器	3	
	支柱器具一式	1		送排風機	2	
切断用	油圧切断機	1		エアテント	2	
	エンジンカッター	1		バスケット担架	2	
	チェーンソー	3		多目的画像探査装置	1	
	鉄線カッター	10		救急資器材	A E D	8
	エアソー	1			人工呼吸器	3
	レシプロソー	1	頸椎脊椎固定搬送用器材		7	
	ペダルカッター	1	自動心肺蘇生器		3	
破壊用	万能斧	14	陰圧式アイソレーター		1	
	ハンマー（大）	10	ポンプアップ式アイソレーター		1	
	ハンマードリル	2	小型動力ポンプ		4	
	削岩機	1	背負式消火水のう	22		
測定用	熱画像カメラ	6	消火用具	簡易水槽	2	
	可燃性ガス測定器	3		合成界面活性剤(%)	220	
	個人線量計	10		水成膜泡消火薬剤(%)	300	
隊員保護用	耐電手袋	16		6 5 mmホース 2 0 m	165	
	耐電長靴	12		6 5 mmホース 3 5 m	1	
	耐熱服	2		5 0 mmホース	113	
	化学防護服	2				
呼吸保護用	空気呼吸器	24				
	空気ボンベ	55				

## 4 消防水利の現況

(令和8年4月1日現在)

水利		地区別	計	長門	三隅	日置	油谷	
合計			1,084	471	257	135	221	
消 火 栓	計		837	369	204	87	177	
	75mm		333	117	122	27	67	
	100mm		271	109	63	33	66	
	150mm		175	93	18	27	37	
	200mm		32	25			7	
	250mm		21	20	1			
	300mm		5	5				
防 火 水 槽	計		215	82	45	46	42	
	公 設	20m <sup>3</sup> 未満		2		2		
		20m <sup>3</sup>		9	1		7	1
		30m <sup>3</sup>		1		1		
		40m <sup>3</sup>		185	67	40	37	41
		50m <sup>3</sup>		1		1		
		60m <sup>3</sup>		1	1			
		100m <sup>3</sup>		1	1			
		113m <sup>3</sup>		1			1	
		140m <sup>3</sup>		1	1			
		150m <sup>3</sup>		1	1			
	157m <sup>3</sup>		1			1		
	私 設	40m <sup>3</sup>		18	8	4	6	
		50m <sup>3</sup>		1				1
		100m <sup>3</sup>		2	2			
		200m <sup>3</sup>		1	1			
		1200m <sup>3</sup>		1			1	
そ の 他	計		32	20	8	2	2	
	プール		20	12	4	2	2	
	防火井戸		11	7	4			
	防火溜池		1	1				

## 5 消防相互応援協定等の締結状況

協定の名称	締結年月日	協定先
仙崎海上保安部との業務協定	昭和49年8月1日	仙崎海上保安部
災害時の相互応援に関する協定書	平成20年1月10日	下関市
災害時の相互応援に関する協定書	平成21年8月19日	浜田市、益田市、萩市
山口県内広域消防相互応援協定	平成24年4月1日	山口県内19市町4消防組合
山口県消防防災ヘリコプター応援協定	平成24年4月1日	山口県内19市町4消防組合
「母体・新生児救急搬送マニュアル」に係る救急業務相互応援協定	平成24年4月1日	山口県内8市4消防組合
災害時における消防用水の供給支援に関する協定	令和4年3月3日	有限会社生コンながと

火 災

# 1 火 災

## (1) 過去5年間の火災状況

区 分		年 別				
		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
発生件数		20	21	29	19	25
火災種別	建 物	5	5	5	9	6
	林 野	3	2	2	1	1
	車 両	1	2	2	1	3
	船 舶			1		
	そ の 他	11	12	19	8	15
焼損棟数	全 焼	2	5	1	2	3
	半 焼				1	
	部 分 焼	3	4	1	6	
	ぼ や	2		3	1	5
焼損状況	建 物 ( m <sup>2</sup> )	642	494	7	423	657
	林 野 ( a )	3		10	1	1
り 災 世 帯 数		6	4		5	4
死傷者	死 者				1	1
	負 傷 者	2	2	6	1	2
損害額 (千円)	計	19,121	16,335	882	31,135	16,280

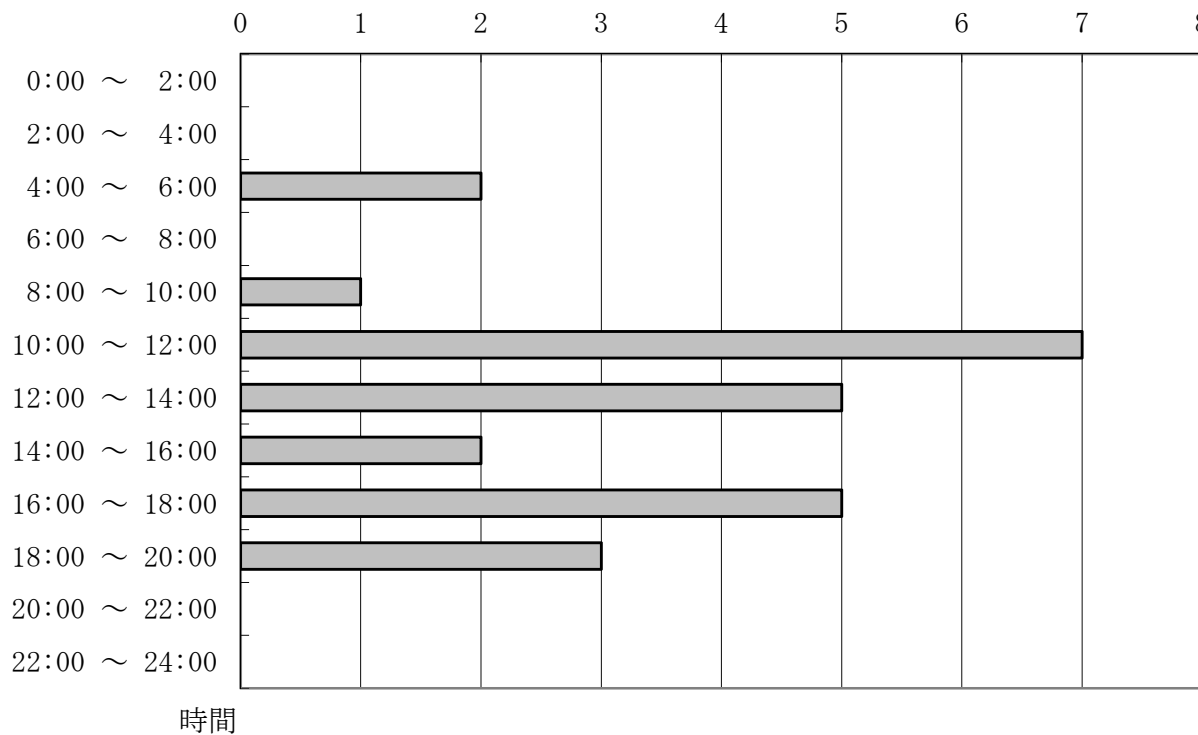
## (2) 出火原因別火災件数(令和7年中)

区 分	総 数	出火原因		
		たき火	電気機器 配線器具	その他
件 数	25	14	5	6

令和7年

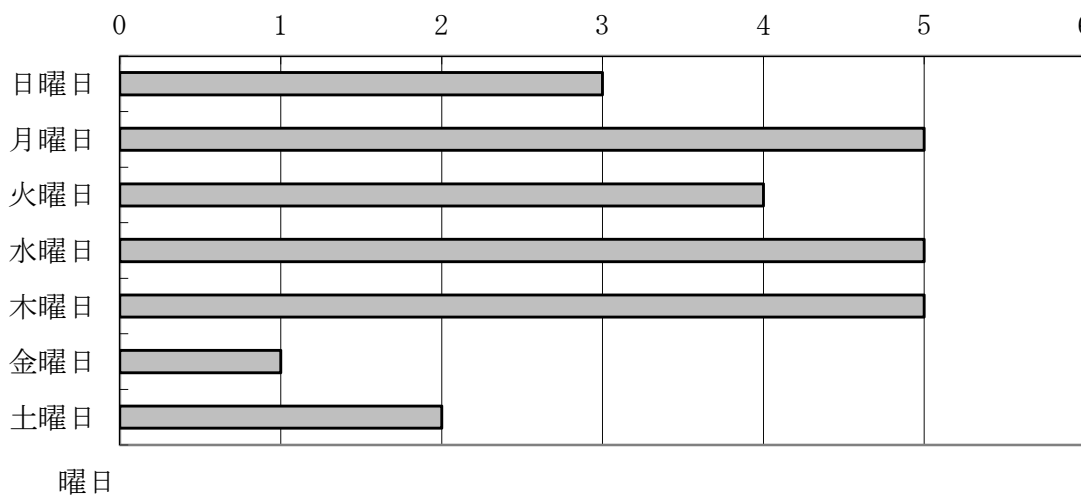
### (3) 時間帯別火災発生状況

件数



### (4) 曜日別火災発生状況

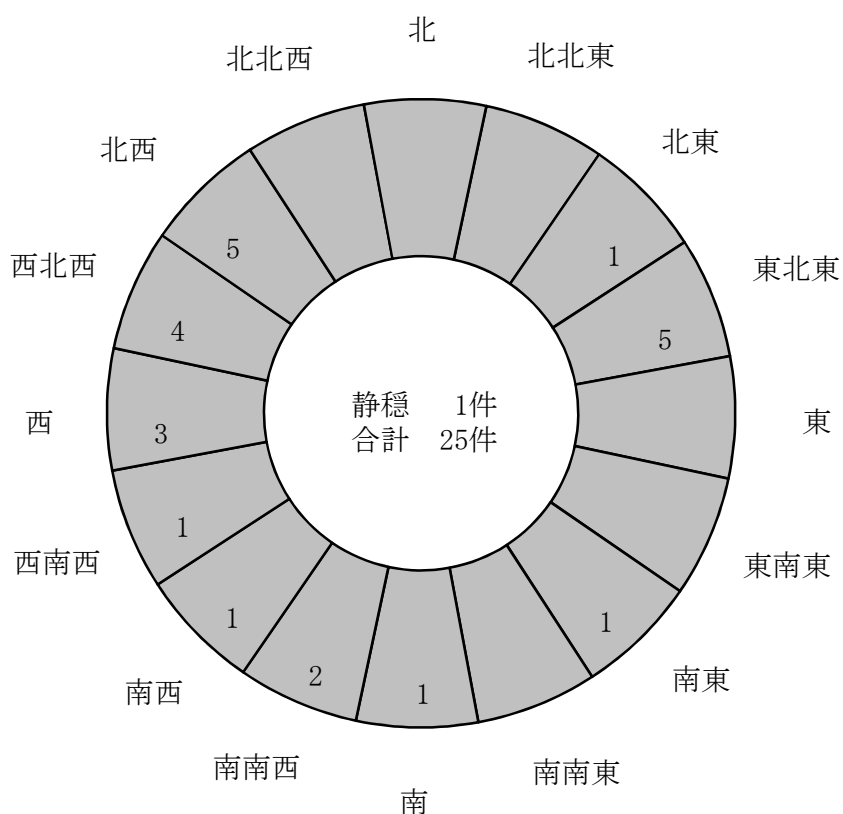
件数



(5) 気象別（風速・湿度・温度）火災発生状況

風速・ 温度	風 速 (m/sec)						温 度 (°C)									
	計	静 穩	1	4	7	10 以上	計	0 以下	1	5	10	15	20	25	30 以上	
湿度 (%)			3	6	9				4	9	14	19	24	29		
計	25	1	18	6			25		2	6	1	4	4	1	7	
40以下	1			1			1		1							
41~50	1		1				1			1						
51~60	2		2				2		2							
61~70	6		5	1			6		2		1	2			1	
71~80	9		7	2			9		2		3	1				3
81~90	6	1	3	2			6	1				1	1			3
91~100																

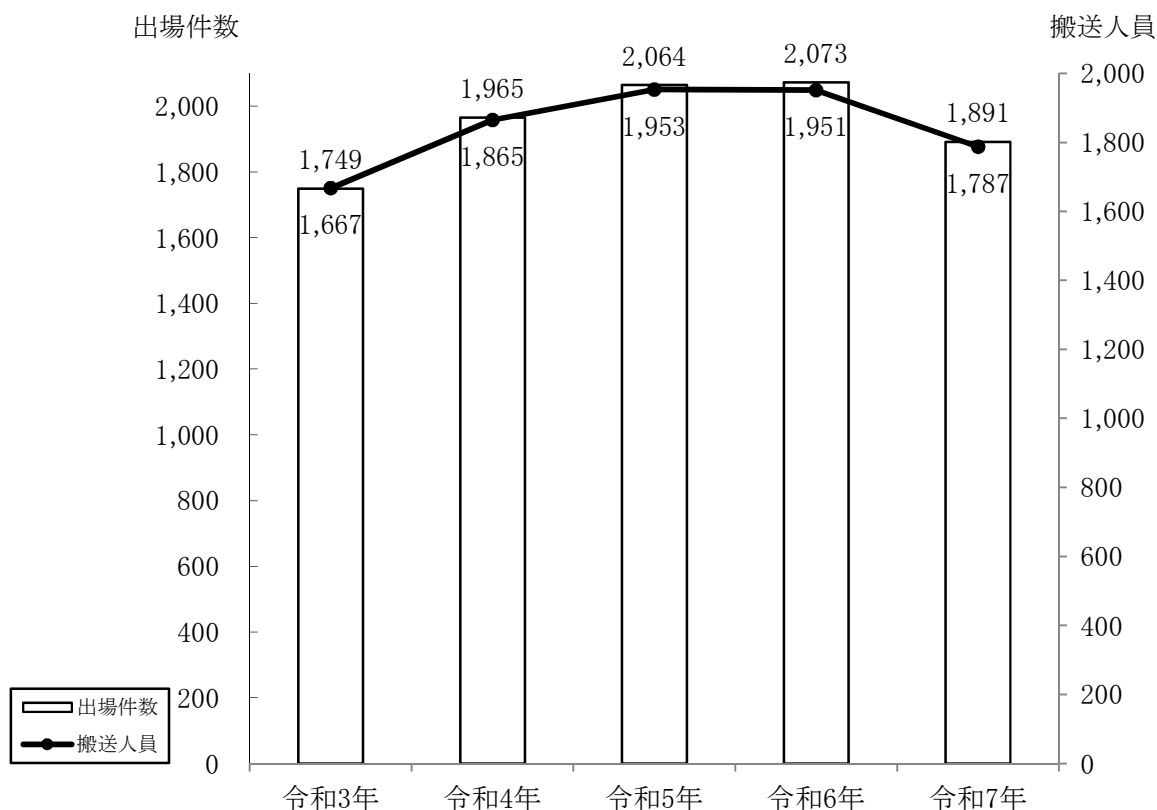
(6) 風向別火災発生状況



救 急 ・ 救 助

# 1 救 急

## (1) 過去5年間の救急出場状況



		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	平均
出場件数		1,749	1,965	2,064	2,073	1,891	1,948
地区別	長門	1,017	1,125	1,223	1,260	1,082	1,141
	三隅	210	277	276	231	261	251
	日置	182	184	202	194	192	191
	油谷	340	379	363	388	355	365
	管轄外	0	0	0	0	1	0
搬送人員		1,667	1,865	1,953	1,951	1,787	1,845
傷病程度	死亡	34	54	53	55	50	49
	重症	669	675	553	527	520	589
	中等症	487	508	636	720	630	596
	軽症	477	628	711	649	587	610

(2) 救急出場状況

区分 地区別	出 場 件 数	搬 送 人 員	事 故 種 別										
			火 災	自 然 災 害 事 故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
計	1,891 (2,073)	1,787 (1,951)	1 (1)	2 (1)	7 (3)	77 (83)	17 (15)	16 (14)	360 (345)	2 (3)	11 (15)	1,180 (1,365)	218 (228)
長 門	1,082 (1,260)	1,031 (1,185)	1 (1)		2 (1)	51 (48)	8 (10)	12 (7)	201 (199)	1	2 (7)	610 (793)	194 (193)
三 隅	261 (231)	241 (216)		2		10 (8)	3 (3)	1	44 (39)		2 (3)	185 (165)	14 (10)
日 置	192 (194)	185 (182)			1	8 (7)	3	1 (4)	38 (29)		3	133 (135)	5 (19)
油 谷	355 (388)	330 (368)			4 (1)	7 (20)	3 (2)	2 (3)	77 (78)	1 (1)	4 (5)	252 (272)	5 (6)
管 轄 外	1					1							

( ) 内は昨年の数値

(3) 救急隊別救急出場状況

区分 地区別	計	事 故 種 別										
		火 災	自 然 災 害 事 故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
計	1,891	1	2	7	77	17	16	360	2	11	1,180	218
中 央 消 防 署	1,391	1	2	3	63	11	12	261	1	4	822	211
西 消 防 署	500			4	14	6	4	99	1	7	358	7

(4) 月別救急出場状況

事故種別		計	火 災	自然 災害 事故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
月別													
計	出場件数	1,891	1	2	7	77	17	16	360	2	11	1,180	218
	搬送人員	1,787	1	2	3	76	17	17	339	2	9	1,112	209
1月	出場件数	193	1			10	2	1	28			137	14
	搬送人員	179	1			10	2	1	25			127	13
2月	出場件数	131				4			19			91	17
	搬送人員	121				2			16			86	17
3月	出場件数	167		1		6			30		1	110	19
	搬送人員	156		1		5			29		1	103	17
4月	出場件数	156			1	6	2	2	32			92	21
	搬送人員	145				7	2	2	30			85	19
5月	出場件数	147		1	3	3		2	26	1	2	86	23
	搬送人員	135		1	1	3		2	24	1	2	78	23
6月	出場件数	147				4	1	4	31			91	16
	搬送人員	139				3	1	4	27			89	15
7月	出場件数	171				6	4	2	31		2	115	11
	搬送人員	162				5	4	3	31		1	108	10
8月	出場件数	159				9	4		23	1	1	105	16
	搬送人員	157				10	4		23	1	1	102	16
9月	出場件数	140			1	6	1	3	23		3	80	23
	搬送人員	134			1	7	1	3	22		3	76	21
10月	出場件数	157				12		1	40			89	15
	搬送人員	153				12		1	39			86	15
11月	出場件数	164				8	2	1	37		2	93	21
	搬送人員	154				9	2	1	35		1	85	21
12月	出場件数	159			2	3	1		40			91	22
	搬送人員	152			1	3	1		38			87	22

(5) 不搬送状況

事故種別		計	火 災	自然 災害 事故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
区分													
計		109			4	5			21		2	68	9
辞退(到着前)		3							1			2	
辞退(到着後)		40				1			6			32	1
拒否		23			1				4			18	
明らかな死亡		24			2				7		2	13	
他車搬送		2				2							
傷病者なし		4				2			1				1
誤報・いたずら		6										1	5
その他		7			1				2			2	2

(6) 時間別救急出場状況

時間別 事故種別	計	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の
		害	害	事	事	事	事	負		行		他
		傷	故	故	故	故	故	傷	害	為	病	他
計	1,891	1	2	7	77	17	16	360	2	11	1,180	218
0～2	68							6	1		57	4
2～4	55				2	1		11			38	3
4～6	65					1		8		2	49	5
6～8	141		1	3	2	1		29		2	97	6
8～10	262				17	2		61		1	154	27
10～12	251		1	1	12	3	4	36			146	48
12～14	250			1	16	3	4	40		1	137	48
14～16	201	1			12	2	1	32			107	46
16～18	194				10	3	4	42		1	114	20
18～20	181			1	2		2	56		1	117	2
20～22	131				3		1	28	1	1	89	8
22～24	92			1	1	1		11		2	75	1

(7) 曜日別救急出場状況

曜日別 事故種別	計	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の
		害	害	事	事	事	事	負		行		他
		傷	故	故	故	故	故	傷	害	為	病	他
合計	1,891	1	2	7	77	17	16	360	2	11	1,180	218
月	302		1		15	3	1	42		1	193	46
火	260				6	2		51		1	170	30
水	257	1		1	11	2	3	41		1	166	31
木	287			1	12	2	3	51	2		171	45
金	264		1	1	14	4	2	42		2	157	41
土	250			1	9	4	2	66		2	155	11
日	271			3	10		5	67		4	168	14

(8) 傷病程度・年齢別搬送状況

事故種別		計	火 災	自然 災害 事故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他 <small>(転院搬送のみ)</small>
年齢・程度別													
合 計	計	1,787	1	2	3	76	17	17	339	2	9	1,112	209
	死 亡	50				1			13		1	35	
	重 症	520		1	2	18	2	2	110		2	228	155
	中等症	630		1	1	16	5	2	96		1	465	43
	軽 症	587	1			41	10	13	120	2	5	384	11
	その他												
新生児  <small>生後 28日未満</small>	計	1											1
	死 亡												
	重 症	1											1
	中等症												
	軽 症												
乳幼児  <small>生後 28日以上 満7歳未満</small>	計	45							9			35	1
	死 亡												
	重 症	1											1
	中等症	13										13	
	軽 症	31							9			22	
少 年  <small>満7歳以上 満18歳未満</small>	計	46				5		13	5			21	2
	死 亡												
	重 症	3				1		1					1
	中等症	11						1	1			9	
	軽 症	32				4		11	4			12	1
成 人  <small>満18歳以上 満65歳未満</small>	計	329		1		30	12	3	37	1	5	194	46
	死 亡	3										3	
	重 症	63				5	1	1	6		1	18	31
	中等症	111		1		7	5	1	12			73	12
	軽 症	152				18	6	1	19	1	4	100	3
老 人  <small>満65歳以上</small>	計	1,366	1	1	3	41	5	1	288	1	4	862	159
	死 亡	47				1			13		1	32	
	重 症	452		1	2	12	1		104		1	210	121
	中等症	495			1	9			83		1	370	31
	軽 症	372	1			19	4	1	88	1	1	250	7
	その他												

(9) 応急処置状況

事故種別 応急処置区分	計	急	交通	一般	(左記以外)
		病	事故	負傷	その他
応急処置人員	1,787	1,112	76	339	260
計	7,582	4,860	328	1,331	1,063
止血	29	1	1	27	
固定	47	2	16	19	10
人工呼吸	2	2			
心臓マッサージ					
心肺蘇生	55	38		16	1
酸素吸入	375	247	8	35	85
気道確保	78	55	2	18	3
保温	26	15		4	7
被覆	73	3	6	56	8
在宅療法継続	102	75		9	18
ショックパンツによる血圧維持					
除細動	2	2			
静脈路確保	26	17	1	8	
薬剤投与	12	6		6	
血糖測定	43	41	2		
ブドウ糖投与	7	6	1		
その他の応急処置	1,742	1,098	73	326	245
血圧測定	1,714	1,063	76	319	256
聴診器による聴取	469	350	33	60	26
血中酸素飽和度測定	1,733	1,078	76	320	259
心電図	1,047	761	33	108	145

(10) 特定行為等の処置状況

処置区分	年 別				
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
処置実施人数	39	63	44	46	73
ラリングアルチューブ	1			1	
気管挿管	3	6	6	7	6
除細動	1	4	3	3	2
静脈路確保	37	31	23	19	26
薬剤投与 (アドレナリン)	10	18	15	8	12
薬剤投与 (ブドウ糖)	4	5	2	4	7
血糖測定	9	23	14	21	43

(※処置実施人数と処置数は必ずしも一致しません。)

(11) 転院搬送状況

診療科目	搬送先 計	一次医療機関		二次医療機関			三次医療機関		
		市内	市外	市内	市外	市外	ドクヘリ		
計	208	3	3	137	67	70	68	53	15
脳外科	42			16	3	13	26	16	10
循環器科	50			45	6	39	5	4	1
内科	24	1	1	20	15	5	3	1	2
外科	16	1	1	14	12	2	1		1
整形外科	22			18	16	2	4	4	
産婦人科	10			1	1		9	9	
小児科	1						1	1	
その他	43	1	1	23	14	9	19	18	1

(※搬送件数は209件だが搬送先医療機関にその他が1件あるため計上していない。)

(12) ドクターヘリ要請状況

	要請件数	出動件数	出動件数			未出動件数内訳		未出動件数理由			
			現場出動	転院搬送	途中キャンセル	現場出動	転院搬送	時間外要請	天候不良	重複要請	その他
令和7年	25	24	9	15		1			1		
令和6年	34	31	3	26	2	3			3		
令和5年	30	30	5	25							

(13) 診療科目別ドクターヘリ搬送状況

搬送元 診療科目	計	転院搬送	現場要請
計	24	15	9
脳外科	17	10	7
循環器科	2	1	1
内科	2	2	
外科	1	1	
整形外科	1		1
小児科			
産婦人科			
その他	1	1	

## 2 救急講習

年別	区分	計		上級救命講習		普通救命講習		救急講習		
		回数	延べ人員	回数	延べ人員	回数	延べ人員	回数	延べ人員	
令和3年		59	981	2	10	I	8	197	43	679
						II	6	95		
令和4年		72	1,291	1	24	I	10	246	49	891
						II	12	130		
令和5年		74	1,419	1	23	I	15	405	49	902
						II	9	89		
令和6年		82	1,610	1	24	I	12	286	54	1,156
						II	15	144		
令和7年		60	1,363	1	15	I	14	337	37	902
						II	8	109		

## 3 救助

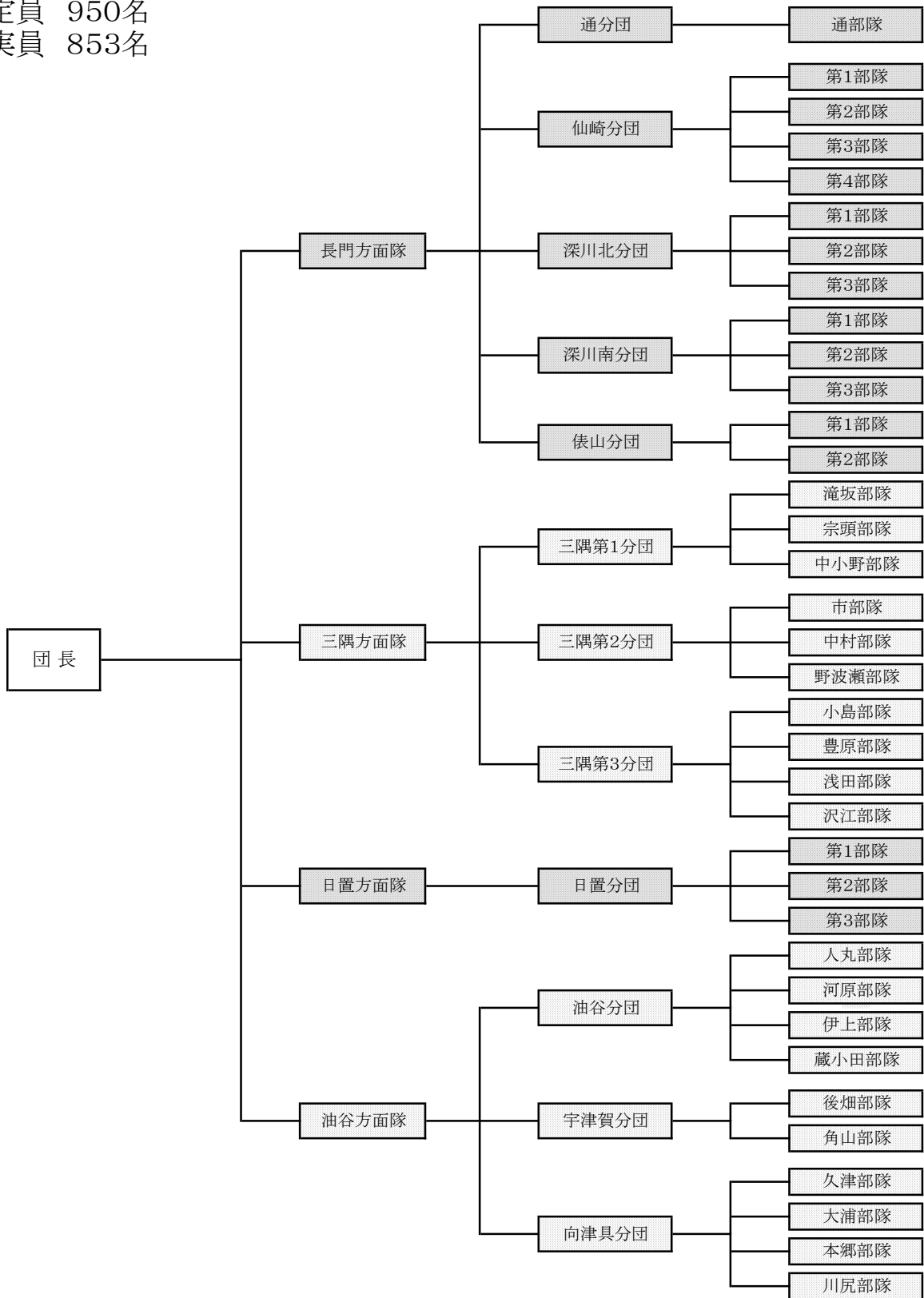
年別	区分	事故種別	計	火	交	水	風	機	建	ガ	爆	そ
				災	通	難	水	械	物	ス	発	の
				故	事	事	害	による	等による	及び	事	他
				故	故	故	等	による	による	酸	故	の
				故	故	故	等	による	による	欠	故	事
				故	故	故	等	による	による	事	故	故
令和3年	出動件数		14		10	2						2
	活動件数		6		5	0						1
	救助人員		6		5	0						1
令和4年	出動件数		15		8	2		1				4
	活動件数		6		3	0		0				3
	救助人員		6		3	0		0				3
令和5年	出動件数		23		11	7		1				4
	活動件数		10		3	5		1				1
	救助人員		10		3	5		1				1
令和6年	出動件数		15		9	1						5
	活動件数		9		4	1						4
	救助人員		9		4	1						4
令和7年	出動件数		17		12	3		1				1
	活動件数		8		6	1		1				0
	救助人員		9		6	2		1				0

消 防 団

# 1 消防団の現況

## (1) 組織

定員 950名  
実員 853名



## (2) 部隊別団員数と保有機材

令和8年4月1日現在

人員機材 所 属			階 級 別 消 防 団 員 数								保 有 機 材				
			団 長	方 面 隊 長 (副団長格)	分 団 長	副 分 団 長	部 隊 長	副 部 隊 長	班 長	基 本 団 員	機 能 別 団 員	消 防 ポンプ車	自 動 積 載 力 ポ	小 型 積 載 力 ポ	小 型 積 載 力 ポ
方面隊	分団	部隊													
長 門	通	通			1	1	1	1	6	27		1	1	1	
		仙 崎	第1					1	1	3	6			1	1
			第2			1	1	1	1	3	15		1	1	1
			第3					1	1	6	18		1	1	1
	深 川 北	第4					1	1	5	18		1	1	1	
		第1			1	1	1	1	10	32		1	2	2	
		第2			1	1	1	1	9	30			3	3	
	深 川 南	第3					1	1	6	18		1	1	1	
		第1			1	1	1	1	4	15		1	1	1	
		第2			1	1	1	1	4	14		1			
	俵 山	第3					1	1	5	26	4		3	3	
		第1			1	1	1	1	7	28		2		2	
第2						1	1	5	16 (1)		1		1		
三 隅	三 隅 第 1	滝坂			1	1	1	1	5			1	1		
		宗頭			1	1	1	1	4	13			1	1	
		中小野市					1	1	3	10			1	1	
	三 隅 第 2	中村			1	1	1	1	4	12			1	1	
		野波瀬					1	1	3	10			1	1	
		小島					1	1	3	10			1	1	
	三 隅 第 3	豊原			1	1	1	1	5	18		1		1	
		浅田					1	1	2	6			1	1	
		沢江					1	1	2	7			1	1	
		第1			1	1	1	1	8	31 (4)		1	1	2	
日 置	第2			1	1	1	1	8	19		1	1	1		
	第3					1	1	3	12		1	1	1		
	人丸					1	1	5	16			1	1		
油 谷	油 谷	河原			1	1	1	4	18			1	1		
		伊上					1	1	4	14			1	1	
		蔵小田					1	1	5	11			1	1	
		後畑			1	1	1	1	3	10	21		2	2	
宇 津 賀	宇 津 賀	角山			1	1	1	3	7	4		1	1		
		久津					1	1	5	14			1	1	
		大浦			1	1	1	1	4	15		1		1	
		本郷					1	1	4	11	1		1	1	
		川尻					1	1	5	15		1		1	
計	12	36	1	4	12	12	36	36	164	558 (5)	30	17	36	43	

※うち ( ) は女性団員

## (3) 年齢・階級別団員数

令和8年4月1日現在

区分 年齢	団長	方面隊長 (副団長 格)	分団長	副分団長	部隊長	副部隊長	班長	団員	小計	
										うち女性
20歳未満										
20～24							1	13	14	1
25～29							1	19	20	
30～34							7	54	61	
35～39					1	1	16	71	89	
40～44					4	9	43	106	162	
45～49			2	3	7	8	39	119	178	2
50～54			2	1	15	7	31	79	135	1
55～59			2	2	6	9	20	52	91	
60～64		1	5	2	3	2	6	34	53	1
65歳以上	1	3	1	4				41	50	
合計	1	4	12	12	36	36	164	588	853	5
うち女性							2	3		5

## (4) 団員在籍年数調

令和8年4月1日現在

階級 年齢	本部	長門方面隊	三隅方面隊	日置方面隊	油谷方面隊	小計	
5年未満		39	22	17	19		97
5～10年未満		52	36	13	31		132
10～15年未満		68	26	18	53		165
15～20年未満		54	23	12	35		124
20～25年未満		77	35	13	32		157
25～30年未満		35	10	8	24		77
30年以上	1	52	7	9	32		101
合計	1	377	159	90	226		853

## (5) 出動状況

種別 回数	火災	風水害	捜索	訓練	その他	計	
出動回数	6	2	2	59	251		320
出動人員	194	42	35	951	1,750		2,972